

〔 評価結果 〕

1 特徴

I	福祉サービスの基本方針と組織	<p>運営理念・保育理念・保育目標・保育の基本方針については「園のパフレット」と「保育のしおり（保育者用）」（毎年見直し）に明文化しており、それらに基づき、保育所の使命・役割を果たしている。月1回の学習会で、理事長は職員へ説明をし、文書でも全職員に配布している。新規・継続利用について保護者には説明をし、外部には近隣の知的障害児通園施設・公民館・区役所に配布している。就業規則等に園長の職務について規定し、職員会議や園だよりにも明示している。</p>
II	組織の運営管理	<p>研修活動に積極的に取り組んでおり、年間事業計画の「平成19年保育内容関係計画」においてモンテッソーリ教育の個人の研修計画が策定されている。他にさくらさくらんぼリズム・わらべうた研修などを職員の希望で研修計画を作成し、日々の保育実践に生かしている。福岡市保育協会の園外研修の職員派遣計画があり、研修報告もなされている。</p> <p>自治会の役員として民生・児童委員ともかかわっている。また博多区の要保護児童支援地域協議会に参加している。小学校との交流事業としては、5歳児が小学校を訪問して1年生と一緒に運動遊びを行ったり、小学校教諭が園を訪れたりしている。保育実習、中高生の職場体験、ボランティアを積極的に受け入れている。</p>
III	適切なサービスの実施	<p>「だろんこ保育園におけるプライバシーの尊重のマニュアル」や「子どもに関する問い合わせについて等のマニュアル」を整備しており、職員は学習会で研修をしている。保護者の役員会が保護者と園とのパイプ役を果たし、理事長・園長との意見交換が月1回実施され、利用者満足の向上に向けた取り組みが行われている。</p> <p>保育の質の向上や改善のための取り組みは職員参加により行い、年10回学習会を実施している。昼礼やクラス会議を定期的に行い、情報を職員間で共有している。年度末には全職員が職種により自己評価を行っている。パンフレットや保育のしおり等を保護者等に配布するなどして、情報提供に努めている。</p>
IV	<p>子どもの発達援助</p> <p>子どもの発達援助の基本 健康管理・食事 保育環境 保育内容</p>	<p>子どもの発達援助の基本にモンテッソーリ教育とさくらんぼリズム、わらべうたを置いている。食農育を推進し、季節の野菜作りや梅干し、納豆、豆腐、味噌作りをしている。調理室は子どもの目の高さで調理作業が見えるように工夫され、調理室前には「本日の食材」が飾られ、食べ物に関心をもつよう工夫している。3歳以上児はバイキング形式を取り入れ、異年齢によって編成されたグループで楽しい雰囲気の中で食事をしている。配膳や後片付けは年長児が担っている。アレルギー疾患をもつ子どもに対し、主治医からの除去食に関する診断書に基づいて適切な対応を行い、家庭との連携もできている。保育環境が整備されていて、基本的な生活習慣や生理現象に関して保育士は子ども一人一人の生活リズムを大切にし、子どもの状況に応じて対応している。各保育室はモンテッソーリ教育に基づく教具が準備され、子どもが自発的に集中して遊んでいる。自分から身の回りのことがしやすいように配慮された環境の中で、落ち着いて生活をしている。3歳未満児は子ども一人一人の生活リズムが大切にされ、十分なかかわりがなされていた。乳児保育のための保育環境が整備され、十分な配慮が見られた。</p>

<p>V</p>	<p>子育て支援 入所児童の保護者の育児支援 地域の子育て支援</p>	<p>入所児童の保護者の育児支援については、一人一人の保護者と連絡ノートで情報交換をしている。個人面談は各クラスで時間を設定して行い、内容は児童票に記入している。年3回の懇談会、参観日があり、保護者の9割が参加していて、子どもの発達や育児などについて、保護者と園とが共通理解を得る機会を設けている。 児童虐待への対応マニュアルを備え、虐待と思われるケースに対して博多区の子ども相談課、保健福祉センター、児童相談所等の関係機関に連絡相談をしている。</p>
<p>VI</p>	<p>安全・事故防止</p>	<p>調理場・水周りなどの衛生管理はマニュアルに従って実施されており、調理室は常に衛生的に保たれている。食中毒発生時の対応マニュアルは自治体のものを活用しており、全職員に周知されている。 安全教育のポイント（市作成）というマニュアルを備え、安全点検チェックリストで施設設備を定期的に点検し、園内ヒヤリハット図を作成している。 園外保育では園独自のおさんぽマップ（園外（散歩）ヒヤリハット図）を作成している。不審者など（市作成）というマニュアルを備えている。 緊急時のベルや警備会社への通報システムを設置し、全職員に周知している。</p>

2 課題

地域の子育て支援に関しては、卒園児を含めた学童保育や、講演会講師をするなど、地域に貢献しているが、都心部にあり地域に子どもが少ないという地域性もある。今後さらに育児相談や子育て情報を地域へ提供するなどの、地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みが望まれる。役員会などで保護者の意向を受けとめることに努めているが、なかなか発言できない利用者にも配慮して、今後はアンケート調査を実施するなど、広く意見を集約することが望まれる。

3 総合所見

運営理念・保育理念・保育目標・保育の基本方針が園のパンフレットや保育のしおりに明文化されており、全職員に周知されている。研修活動に積極的に取り組んでおり、日々の保育実践に活かされている。保育の質の向上や改善のための取り組みは職員参加により学習会を実施し、年度末には全職員が自己評価を行っている。

衛生面・安全面に配慮して食農育を推進し、季節の野菜作りや梅干し、納豆、豆腐、味噌作りをしている。3歳以上児は異年齢で編成されたグループで、バイキング方式により、楽しい雰囲気の中で食事をとり、配膳や後片付けは年長児が担っている。

保育環境が整備されていて、基本的な生活習慣や生理現象に関して保育士は子ども一人一人の生活リズムを大切に、子どもの状況に応じて対応している。各保育室はモンテッソーリ教育に基づく教具が準備され、子どもが自発的に遊んでいる。3歳未満児は子ども一人一人の生活リズムが大切にされ、十分なかわりがなされている。乳児保育のための保育環境が整備され、十分な配慮が見られる。

4 事業者コメント

5 評価項目別 評価

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
I 福祉サービスの基本方針と組織			
I-1 理念・基本方針			
(1)	理念が明文化されている。	a 法人の理念、保育理念を明文化しており、保育所の使命・役割を反映している。 b 法人の理念、保育理念を明文化しているが、保育所の使命・役割の反映が十分ではない。 c 法人の理念、保育理念を明文化していない。	a
(2)	理念や基本方針が職員に周知されている。	a 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付するとともに、十分な理解を促すための取り組みを行っている。 b 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付しているが、理解を促すための取り組みが十分ではない。 c 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付していない。	a
(3)	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配布するとともに、十分な理解を促すための取り組みを行っている。 b 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配布しているが、理解を促すための取り組みが十分ではない。 c 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配布していない。	a
I-2 施設長の責任とリーダーシップ			
(4)	施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。 b 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。 c 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。	a
(5)	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取り組みを行っている。 b 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っているが、十分ではない。 c 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みは行っていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
Ⅱ 組織の運営管理			
Ⅱ-1 人材の確保・養成			
(6)	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。 b 職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。 c 職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。	a
(7)	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 b 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されているが、十分ではない。 c 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されていない。	a
(8)	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され、計画に基づいた具体的な取り組みが行われている。 b 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されているが、計画に基づいた具体的な取り組みが十分に行われていない。 c 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されていない。	a
(9)	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a 研修成果の評価が定期的に行われるとともに、次の研修計画に反映されている。 b 研修成果の評価が定期的に行われているが、次の研修計画に反映されていない。 c 研修成果の評価が定期的に行われていない。	a
(10)	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。 b 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。 c 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。	a
(11)	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a 実習生受け入れの際には、実習の効果をあげる計画を用意する等、育成に取り組んでいる。 c 実習生受け入れの際、実習の効果をあげる計画を用意する等の取り組みを行っていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
Ⅱ-2 地域や関係機関との連携			
(12)	民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。	a 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。 c 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っていない。	a
(13)	近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	a 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。 c 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしていない。	a
(14)	中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	a 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。 b 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。 c 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。	a
(15)	育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	a 積極的に取り組みを行っている。 b 取り組みを行っている。 c 取り組みを行っていない。	b
(16)	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。 b ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。 c ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。	a
(17)	保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	a 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有している。 b 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有していない。 c 地域の関係機関についての情報を収集していない。	a
(18)	子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	a 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。 c 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっていない。	a
(19)	育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	a 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。 c 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができない体制になっていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(20)	小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	a 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。 b 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けているが、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がない。 c 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会がない。	a
Ⅲ 適切なサービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位のサービス			
(21)	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取り組みを行っている。 b 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、職員に周知する取り組みが十分ではない。 c 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備していない。	a
(22)	利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	a 保護者の意向に配慮する姿勢が明示され、意向を把握する具体的な仕組みを整備している。 b 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されているが、意向を把握する具体的な仕組みが十分でない。 c 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されていない。	a
(23)	利用者満足の上に向けた取り組みを行っている。	a 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備され、実際にその向上に向けた取り組みを行っている。 b 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されているが、その向上に向けた取り組みが十分ではない。 c 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されていない。	a
(24)	苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している。	a 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われ、機能している。 b 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われているが、機能していない。 c 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われていない。	a
(25)	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。 b 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備しているが、迅速に対応していない。 c 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備していない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
(26)	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	<p>a 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。</p> <p>b 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設けているが、それを踏まえて保育の質の向上や改善のための取り組みを行っていない。</p> <p>c 定例会議を含め、保育の質の向上や改善に関し、職員からの意見を聞いていない。</p>	a
(27)	保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	<p>a 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。</p> <p>b 保育の内容について、定期的に自己評価を行っているが、職員参加が図られていない。</p> <p>c 保育の内容について、定期的に自己評価を行っていない。</p>	a
(28)	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	<p>a 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。</p> <p>b 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録はあるが、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されていない。</p> <p>c 一人一人の子どもの記録がない。</p>	a
(29)	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	<p>a 子どもに関する記録管理について規程が定められ、適切に管理されている。</p> <p>b 子どもに関する記録管理について規程が定められ管理されているが、十分ではない。</p> <p>c 子どもに関する記録管理について規程が定められていない。</p>	a
(30)	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	<p>a 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。</p> <p>b 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を必要に応じて開催しているが、定期的には開催していない。</p> <p>c 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を開催していない。</p>	a
(31)	情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	<p>a 情報提供をよく行っている。</p> <p>b 情報提供をどちらかといえば行っている。</p> <p>c 情報提供をほとんど行っていない。</p>	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(32)	入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している。	a 入所にあたり、保育所が提供するサービスについて、保護者等にわかりやすく説明を行っている。 c 入所にあたり、保育所が提供するサービスについて、保護者等に説明を行っていない。	a
Ⅲ-3 サービス実施計画の策定			
(33)	一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	a 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。 b 子ども発達状況に配慮しているが、一人一人に配慮した指導計画となっていない。 c 子ども発達状況に配慮した指導計画となっていない。	a
Ⅳ 子どもの発達援助			
Ⅳ-1 子どもの発達援助の基本			
(34)	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 b 保育計画は、保育の基本方針に基づき作成されているが、地域の実態や保護者の意向等は考慮されていない。 c 保育計画が、保育の基本方針に基づいていない。	a
(35)	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a 定期的に指導計画の評価を行い、その結果が次の指導計画に生かされている。 b 定期的に指導計画の評価を行っているが、その結果が指導計画に生かされていない。 c 定期的に指導計画の評価を行っていない。	a
Ⅳ-2 健康管理・食事			
(36)	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の発達・健康状態に応じて実施している。	a 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 b 健康管理は、マニュアルなどはないが子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 c 健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施していない。	a
(37)	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。 b 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。 c 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達していない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(38)	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。 b 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。 c 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達していない。	a
(39)	感染症発症時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。 b 感染症発生時に対応できるマニュアルはないが、発生状況を保護者、全職員に通知している。 c 感染症発生時に対応できるマニュアルもなく、保護者、全職員に通知していない。	a
(40)	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a 食事を楽しむことができる工夫をしている。 b どちらかといえば工夫をしている。 c 工夫をしていない。	a
(41)	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている。	a 十分に対応している。 b どちらかといえば対応している。 c 対応していない。	a
(42)	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a よく連携している。 c あまり連携していない。	a
(43)	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 c アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得ていない、あるいは得ていても適切な対応を行っていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
IV-3 保育環境			
(44)	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a よく整備されている。 b どちらかといえば整備されている。 c 整備されていない。	a
(45)	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a よい取り組みが行われている。 b どちらかといえば取り組みが行われている。 c 取り組みが行われていない。	a
IV-4 保育内容			
(46)	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	a 子どもをよく受容しようと努めている。 b どちらかといえば子どもを受容しようと努めている。 c 子どもを受容しようと努めていない。	a
(47)	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	a 一人一人の子どもの状況に応じてよく対応している。 b どちらかといえば対応している。 c 対応していない。	a
(48)	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a よく整備されている。 b どちらかといえば整備されている。 c 整備されていない。	a
(49)	身近な自然や社会とかわれるような取り組みがなされている。	a よく取り組みがなされている。 b どちらかといえば取り組みがなされている。 c 取り組みがなされていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(50)	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(51)	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(52)	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(53)	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(54)	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(55)	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(56)	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
V 子育て支援			
V-1 入所児童の保護者の育児支援			
(57)	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	<p>a 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行っている。</p> <p>b 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っているが、個別面談などは行っていない。</p> <p>c 一人一人の保護者と、子どもについて情報交換を行っていない。</p>	a
(58)	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	<p>a 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。</p> <p>c 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されていない。</p>	a
(59)	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	<p>a 懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。</p> <p>b 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。</p> <p>c 懇談会などの話し合いの場を設けていない。</p>	a
(60)	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。	<p>a 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。</p> <p>b 虐待などの早期発見に努めているが、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっていない。</p> <p>c 虐待などの早期発見に努めていない。</p>	a
(61)	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	<p>a 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。</p> <p>c 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っていない。</p>	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
V-2 地域の子育て支援			
(62)	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a 一時保育の内容や方法によく配慮している。 b 一時保育の内容や方法にどちらかといえば配慮している。 c 一時保育の内容や方法に配慮していない。	※
VI 安全・事故防止			
VI-1 安全・事故防止			
(63)	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されている。 b 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはあるが、適切に実施されていない。 c 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがない。	a
(64)	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。 b 食中毒等の発生時に対応できるマニュアルはあるが、全職員には周知されていない。 c 食中毒に関するマニュアルがない。	a
(65)	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 b 事故防止のためのチェックリスト等はないが、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 c 事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていない。	a
(66)	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 b 事故や災害に適切に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。 c 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがない。	a
(67)	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 b 不審者の侵入時に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。 c 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがない。	a